

同友しずおか

2019

5

VOL.486

私の逸品

(株)アイビス

使う人・創る人のために



静岡県中小企業家同友会



中小企業家同友会とは

静岡同友会は1974年に71名の経営者が呼びかけあい、設立されました。約1,100名の経営者が、「経営体質の強化」「経営者の能力向上」「経営環境の改善」をめざし、活動しています。全国各地で開催される全国大会をはじめ、県全体で行う定時総会・全県経営フォーラム、また、経営課題別の専門委員会、県下11支部での活動、行政や関係諸団体との懇談、連携等、多岐に亘る活動をしています。



同友会3つの目的

1

よい会社をつくろう

同友会は、ひろく会員の経験と知識を交流して企業の自主的近代化と強じんな経営体質をつくることをめざします。

2

よい経営者になろう

同友会は、中小企業が自主的な努力によって、相互に資質を高め、知識を吸収し、これからの経営者に要求される総合的な能力を身につけることをめざします。

3

よい経営環境をつくろう

同友会は、他の中小企業団体とも提携して、中小企業をとりまく、社会・経済・政治的な環境を改善し、中小企業の経営を守り安定させ、日本経済の自主的・平和的な繁栄をめざします。

新会員のご紹介（敬称略） 会員数 1076 名

氏名	社名・事業	所属支部	紹介者
くさ が や ちから 草ヶ谷 力	草ヶ谷燃料(株) 燃料販売業（LPガス販売、ガソリンスタンド、通信販売）	富士	大竹 政彦
やま だ ふゆ と 山田 冬人	(株)エンジョイメント サービス業（健康・リハビリ分野のコンサルティング、運動教室運営）	富士	鈴木 憲介
おか や のり こ 岡谷 典子	岡谷労務研究所 社会保険労務士事務所（終活に関する（事業承継など）相談、人事労務管理、年金相談、労働社会保険）	静岡	牧田 豊
かわ むら みつる 河村 充	河村養蜂場 養蜂業（蜂蜜製品の製造・販売）	榛南	池田 順一

名義変更による新名義人（敬称略）

氏名	社名・事業	所属支部	旧名義人
た なか とも ひろ 田中 友寛	(株)カグラス	三島	田中 杜夫
まつ した ひで き 松下 秀樹	(株)建築工房相良	榛南	神谷 芳彦

※新会員の写真はe.doyu「ユーザ名簿」に掲載します。e.doyuからのご確認をお願い致します。

私の逸品

使う人・ 創る人のために

(株)アイビス (中遠支部)

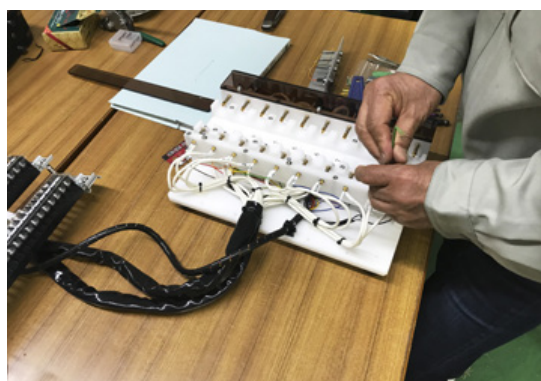
代表取締役 兼古 東志浩氏

磐田原台地の西端、茶畑の緑が美しい磐田市富丘に社屋を構える(株)アイビスは、兼古東志浩氏の父が1968年に設立した兼古電子工業(有)が前身です。兼古氏は音響機器メーカー勤務を経て2006年に入社しますが、ほどなく社長であった父が急逝。以後12年間、「ものづくりを通して人々の生活に貢献する」という父の志を継いできました。電子制御機器の製造・設計・開発を主な事業としており、自動

志を継ぐ



兼古 東志浩氏



顧客とその先を見つめる そんな兼古氏の「私の逸品」は最近製造した「焼成装置」です。これはガスに反応するセンサーの製造過程で、センサー素子表面に塗布するセラミックを焼き付ける装置です。センサー内部の銅線に電圧を掛けて発熱させ、センサー表面を高温にして焼き付けるため、電圧の高さとその電圧の継続時間などを制御する機能があります。中を覗くと、電子基板と電源、そしてケーブル類がバランスよく配置されています。「この製品の先

車等の電子部品の生産設備が得意分野です。

にある顧客、そしてその顧客の製品のユーザー、という風に、常に製品の先の先を考えています」と兼古氏。顧客中心の姿勢は、故障しない製品・顧客を困らせない製品づくりに向かいます。美しい配線も故障しにくさや修理しやすさを考慮してのこと。そしてこの姿勢は、「柔軟な発想と技術で社会に貢献し、使う人・創る人の為の企業へ」という経営理念にも繋がるものです。「誰かのために、という思いは、父もきっと同じだったはずだ」と、兼古氏は創業の精神に思いを馳せていました。



いつかメーカーに

同友会へは大橋徳久氏(有)大橋商事・中遠支部)の紹介で入会。他の団体でも積極的に活動してきた兼古氏は同友会について「同友会のようにずっと経営のことを話し合っている会はない」と語り、特にバズセッションの良さを実感しているようです。

「今後は扱う分野のすそ野を広げていきたい」と語る兼古氏。「引退するまでには自社製品を作るメーカーになりたいですね」という言葉は単なる夢ではないように思えました。

取材・記事・鈴木弘之氏

(税理士法人あい会計・中遠支部)

(株)アイビス

〒438-0803 磐田市富丘663

TEL: 0538-35-8111

URL: <http://ivice.co.jp>

創業 1968年

社員数 13名

入会年月 2018年1月

事業内容 工場向け生産設備設計・製造、
電子応用機器設計・製造

会員訪問記

「働き続ける」環境づくりを

多方面からサポートします

セレクトパートナーズ(株)

代表取締役 西川 竜司氏(富士支部)



西川 竜司氏

「働く」ことを全面的にサポートする

富士市にある就労移行支援事業所、セレクトパートナーズ(株)の西川竜司氏を訪問しました。西川氏は静岡英和大学で福祉の勉強をして社会福祉士の資格を取得。その

後は7年間ソーシャルワーカーとして病院・福祉施設と患者さんの間に立ち、実際の現場を経験することで様々なスキルを身に付けました。経営の勉強のために2年間税理士事務所でも勉強したのち、2017年9月にセレクトパートナーズ(株)を設立しました。



就労移行支援事業所というあまり馴染みのない事業ですが、身体や心に病気を抱えており、「働くことに不安がある」「仕事が長く続かない」といった方々に多方面から就労活動のサポートをしています。また、働くことに関して問題を抱えている方ご本人だけでなく、そんな境遇の方のご家族の相談相手として、かかりつけの病院の先生や、職業安定所、就職先企業などと連携を取り、社会で「働き続けられる」お手伝いをしています。

具体的な取り組みとして同社では「働き続けるための4つのステップ」を設定しています。それぞれ違った悩みを抱えている利用者の方々の状態を知り、1人ひとりに合ったステップからスタート



することで、働き続けられる環境づくりをしています。

同友会は悩みを共有し、本音で語る仲間ができる場

同友会には望月勝代氏(シー・アール・シー(株)・富士支部)の紹介で入会しました。西川氏は同友会について「まだ日は浅いが、会員の方に経営の悩みなど話を聞いてもらうと気持ちが変わり、前向きになって会社も上向きになる」と話します。そして何より表に出せない経営者ならではの悩みなど、本音で話ができることが魅力だと話してくれました。

創業から約1年半が経過し、現在には障がいのある方やそのご家族に認知されるための手段がまだ確

セレクトパートナーズ(株)

〒416-0912 富士市加島町9-17
フェリックス富士2階

TEL: 0545-67-2868

URL: <https://selectpartners-shizuoka.com>

設立 2017年

社員数 正規 2名 パート 2名

入会年月 2018年7月

事業内容 障害のある方に就職を支援する
就労移行支援事業所

立っていないことが課題と言えます。「今後は、現在富士市に一箇所の事業所を他の地域にも増やしていきたい」と語る西川氏。より多くの人にセレクトパートナーズ(株)の取り組みを知ってもらい、「働く」ことに悩んでいる人やその家族により一層寄り添っていききたいとの強い想いが伝わってきました。

取材にただだけの私でさえもなんでも相談してしまいそうな真面目な西川氏に、沢山の期待と大きな可能性を感じながら会社訪問を終えました。

取材・記事: 渡邊正仁氏

(南丸之工務店・富士支部)

合同入社式・若手社員研修を開催

4月2日(火)・3日(水)

静岡県総合社会福祉会館・スズエル もくせい会館



須山 由佳子氏



杉山 静江氏



高木 基氏

去る4月2日・3日、共育委員会主催の合同入社式と若手社員研修が開催され、2日間あわせて9社から23名の新入社員の参加がありました。去年に続いて参加しましたが実にいいもので、若い人が学生から社会に羽ばたく姿を見るのはいつ見ても素晴らしいものです。社会に出て失敗してもいい、わからないことがたくさんあってもいい、嫌なことがたくさんあってもいい。どんなときでも「心」だけは先輩、その物事から、目をそらさないで下さい。心さえ通っていれば物事は必ず解決します。私は浜松で他の団体などが主催する合同入社式を見ておりますが、同友会共育委員会主催の合同入社式は我々の手作りです。記念講演を会員企業の高木基氏(バリュー・トーカー(株)・三島支部)が行い、中小企業で働くことのすばらしさや、①ミッション(理念)②パッション(情熱)③アクション(行動)の「3シヨン」を大切にしたいことなどをお話し頂きました。



グループ討論の様子

ました。そして先輩社員からのメッセージとして昨年参加した石山さくら氏(株山崎製作所・2018年入社)が後輩にエールを送ってくれました。新入社員からは大石奈々氏(株榛南自動車学校)の決意表明があり、私も初めて社会人になった日を出しました。働くって何だろう、給料ってどのようにもらうのかと考えさせられたものでした。そして午後からは若手社員研修がスタートしました。合同入社式同様、我々共育委員会手作りです。



グループワークの様子

友会らしい研修会です。講師は会員企業より杉山静江氏(有声所屬)、須山由佳子氏(有キャリア・アップ・浜松支部)が務めました。杉山氏からは、ビジネスマナーについて名刺交換や電話応対など実践を交えながらの研修が行われました。須山氏からは、社内でのコミュニケーションやPDCAを回すことの重要性について、新聞紙を使ったペーパータワー作りなどのグループワークを通して学びました。

共育委員会では、10月1日(火)にフォローアップ研修の開催も予定しています。ぜひご参加ください。

近藤 良夫氏(近藤良夫会計事務所・共育委員)



富士宮支部合同入社式に 新入社員24名が参加！

4月1日(月) ゲストハウス フォレストヒルズ

4月1日、富士宮支部合同入社式がフォレストヒルズにて開催され、会員企業8社より24名の参加がありました。記念講演では「今が、未来へつながる」と題し、渡邊昌和氏(株中里メッキ)が「失敗を恐れずにポジティブ志向で職務につくこと」や「今という時間を大切に生きぬくこと」が未来につながる」と熱く語りました。先輩社員からのメッセージでは、岩崎滉平氏(有アサギリ)が「1年後に胸を張って誇れるように着実に前に進んでください」と激励。新入社員を代表して原田咲氏(アコレ(株))が、「今まで学んだことを活かし、仲間と楽しく仕事に励みたい」と決意表明をしました。新入社員一人一人が、立派に自分の思いを語ることができ、また、それぞれが将来へのビジョンを持ち合わせていることに逞しさと希望を見出すことができました。今後、地域の中で多様な輝きを放ちながら、それぞれの本分を発揮してくれることを期待します。



鈴木 高史氏(有鈴木製作所・富士宮支部)

県内11支部で総会を開催！

6支部は新支部長のもとで
新たなスタート！



富士支部総会で記念講演を開催

本年度も4月度は全11支部で総会が執り行われました。新年度にあたり、総会で承認されました各支部の活動方針の一部を紹介いたします。伊東支部は「充実した例会・経営指針の学習・会員増強」、御殿場支部は「学ぶ会を活用して労使が共に育ち人が生きる企業づくり、地域と共に歩み経営環境の改善を図ること、本音で語りあえる仲間を増やす」、三島支部は「例会の充実、支部内の組織強化、役員会の充実、会員増強」、沼津支部は「中小企業家らしいスピーディーな運営と専門特化の追求」を重点課題に掲げ、役員会・例会・委員会活動の重点・数値目標・施策を明文化、富士支部は「次世代に繋がる支部づくり」皆で創り・繋がる支部へ」を掲げ、例会・グループ会で学び強靱な体質の企業づくり、世代を超えた交流、経営指針文化と実践、富士宮支部は「変わらなければ始まらない」を掲げ、例会を珠玉の学びの場にする

こと、小グループ活動の更なる充実、全国大会の参加促進、静岡支部は「更なる高みを目指して自主的な同友会活動を」本気で楽しまなければならない」を掲げ、例会を中心とした活動、会員250名目標、経営指針文化の推進、中小企業振興基本条例の学びと推進、10年ビジョンの実践、志太支部は「人を大切にする」人が生きる経営で地域になくてはならない企業になろう」を掲げ、人を生かす経営の追求、40周年100名にむけた仲間づくり、志太3市や他団体との連携推進、榛南支部は「同友会活動は全てに通ず」を掲げ、会活動への積極的な参加が会社・社員・地域・家族・自分のために通じる活動を推進すること、中遠支部は「本質に迫る・学びの実践」を掲げ、経営課題の本質に迫る例会と、自ら変わる・変わり続けることを目標に活動を推進、浜松支部は「会員を増強し全員出席の例会をめざそう」を掲げ、仲間づくりと例会の充実を図ること。これら活動方針が2019年度各支部総会で承認された新たなスタートを切りました。新年度は11支部中6支部長が交代されました。新支部長から抱負が届きましたので紹介します。



2019年度より「榛南支部」に名称を変更

新支部長抱負

御殿場支部長 立道浩幸氏

(横倉設計)



御殿場支部の今年度の活動方針としまして3つの重点課題を掲げさせていただきます。

「学び」… 去年度立ち上げました学ぶ会を大いに活用しよう

「地域」… 地域とともに取り組み、よりよい経営環境を整えよう

「仲間」… 本音で語れる仲間づくりをしよう

これをベースに各委員会・学ぶ会において、より積極的な活動ができればと思っています。特に「学ぶ会」では年間計画をしっかりと打ち出し、会員のレベルアップのお手伝いができるよう準備を進めてきました。今までにない学びの場を実践していきたいです。歴代の支部長をはじめ今まで築き上げてきてくださったこの御殿場支部をより一層元気でたくましくなるよう、頑張っていきたいと思えます。

富士支部長 伊藤博之氏

(天母鋼業(株))



今年度、富士支部の活動方針は「次世代に繋がる支部づくり」です。支部会委員は80

名ですが、同友会活動にかかわっている方は約半数、内支部役員は20名ほどです。役員体制を考えますと大体同じ顔触れになってしまいます。

次世代に繋ぐためには、役員も代わっていかねばなりませんし、新しい役員候補もいなくてはなりません。そのためには多くの会員に、例会、グループ会、委員会、部会などを通じて、同友会をより知ってもらい、多くを学び、楽しんでいただき、会社経営に役立つ同友会のすばらしさを感じてほしいと思います。それが増強にもつながり、そして多くの役員候補が生まれてくる事ででしょう。

支部役員、会員の力を合わせ、次世代に繋がる富士支部にするために、微力ながら尽力して参ります。

富士宮支部長 阿久澤 太郎氏

(株)東海製菓

ユニーク×シナジールインフィニティー



毎年少し肌寒さを感じるようになると、市内のあちこちからお囃子の音が聞こえてくる。浅間大社の秋祭りの練習が始まり、やがて山々は色付き始める。ここにしかない音、光景、匂い、様々な独特な要素が、私達がこの町に生きる喜びと誇りとなりアイデンティティーを形成する。133名の支部会員一人一人の心には、其々にアイデンティティーが存在し、この地に根差し、豊かな地域を創造していく原動力を成す。同じ志を持ち、しかし多様性に富んだユニークな仲間の存在は、私達の人生や経営を導く大切な手引きとなる。個々の会社は吹けば飛ぶような小さなものだが、小ささ故に、大企業には入り込めない領域で、独自の商品、サービス、工程等を軸にした経営に特化し、チビだがキラリと輝く存在である。これらユニークなチビの連携の促進こそ、同友会の大きな特徴であり、豊かな地域社会の実現に寄与する。当支部では、会員皆の刺激合い、学び合い、盗み合い、さらに連携し合いにより、互いに大きなシナジールを発揮し、無限の可能性を秘めた唯一無二の会社、地域創りにコツコツ励もうと思います。

榛南支部長 中野 博美氏

(株)ナック



2019年度は、今までの支部方針を継承しつつ「同友会活動は全てに通ず」をテーマに掲げ、同友会活動に積極的に参加することによって、その結果が会社・社員・地域・家族・自分の為になるんだと多くの会員が確信できるような活動を行っていきたいと思います。

その為に学ぶの原点に返って経営者に必要な健全な心身やスキル(倫理・知識・手法・コミュニケーション能力の向上等)を身につける研修する場を企画します。また健全な会社創りをめざすための経営指針の作成・検証を推進すると共に世代を超えた会員相互の交流と親睦をはかり、先輩経営者からは学び、若い経営者からは刺激をもらうことでお互いに切磋琢磨できる場を企画します。そして行政・金融機関・学校・他団体との連携を密にし、榛南地区を活力と魅力ある地域にするための活性化の推進をはかります。

今年度から「榛南支部」に名称が変わり、支部としても新たなスタートを切りました。鈴木徹前支部長から受けたバトンをしっかりと握り締め、全力で突き進んでいきます。よろしくお願ひします。

中遠支部長 遠藤 健正氏

(有)大橋商事

2つのテーマ



今年度、当支部は県フォーラムの設営支部として大役を任せて頂く年となりました。小さな支部ながら、

県下全会員の皆様と共に学びを深める機会をどのように支部活動と結び付けていくかを考える中で、「本質に迫る」とことと「学びの実践」の2点を支部活動のテーマに掲げることにしました。

支部活動のメインとなる例会では、各社の取り組み多様な問題そのものに留まらず、経営課題の本質にまで目を向け、問題の根本に正面から向き合うバズを展開します。さらに自らが変わる、変わり続けることを目標に、実践に向けた学びを行います。知る、気付くことの先には常に実践があることを忘れない。そんな支部活動を推進します。

そうすることにより、会員それぞれが自社の経営改善や発展を実感できる支部でありたいと思います。加えて、経営指針の成文化に向けて、支部内で学びの場を展開する事業を開催計画中です。共に学びを深めて参りましょう。

浜松支部長 長野 哲久氏

(弁護士法人長野法律事務所)

例会こそ活力源



本年4月から浜松支部長をつとめさせていただきます。浜松支部は、会員が現在31名です。今年度は、

員数を40名と目標をたてました。そこで、一人一人の会員が、日々、増強を意識しながら生活をしていく必要があると思います。そのためには、会員が同友会の魅力やおもしろさを周りに伝えていかなければならないし、それを伝えるためには、日々の活動、特に例会を楽しく充実したものにしていく必要があります。

同友会の魅力は「プレジデント」という雑誌にも掲載されていますように、いろいろな地域に、必ず素晴らしい同友会会員(経営者)がいることであり、その人と例会等で接し、勉強することができることです。例会こそ、私たちの活力源なのです。例会に出席して元氣になりましょう。

例会を楽しく充実させるため、会員全員で知恵を出して企画し、しっかり準備をしましょう。足の遠のいた会員の方も、これからの同友会浜松支部の例会に期待して、必ず出席して下さい。一年間、よろしくお願ひいたします。

故 後藤英明さんを偲ぶ



日本グラニューター株式会社
代表取締役会長（富士宮支部）

静岡同友会創立メンバー

- 1979年度 静岡同友会副代表理事
- 1980年度 静岡同友会代表理事
- 1982年度 初代富士宮支部長



4月、富士宮支部を創立し、県の代表理事も務められた、後藤英明様
がご逝去されました。私が後藤さんから頂いた事の一部を伝えさせてい
たします。

その一、「丸木橋の上で戦え」、私が自社経営に基本としている戦略で
す。野原で大企業と戦ったら、兵力と資本で勝てるわけがない。丸木橋
の上なら自社が負けるわけがない。身の丈に合った戦いを挑む。

その二、同友会に入会して2年後に創業した私は、後藤さんに様々相
談していました。創業3年後、後藤さんに問われて、「やっと黒字化出
来ました」その時、横を向いていた後藤さんの目に光るものを見たとき、
「この人に一生ついていこう、俺もミスター同友会といわれる人間にな
ろう」と決心しました。

その三、15年前、会社の半分以上を火事で焼失した私にかけてくれ
た言葉が、「火事でつぶれた会社はない」でした。若い頃、もらい火で
会社の全焼を経験した後藤さんしか言えない言葉。ピンチをチャンスに
出来る事を教わりました。

後藤さんとの思い出を語るには1時間でも足りませんが、富士宮支部
「シニアの会」で、共に過ごした人と飲みながら語り合いたいと思いま
す。後藤さんの足元にも及びませんが、同友会の語り部、ミスター同友
会になる努力は死ぬまで続けていくことを後藤さんに誓います。

河原崎 信幸氏（シンコーラミ工業株式会社・県同友会相談役）

5月・6月

DOYU CALENDAR

5月16日(木)～6月15日(土)

5月 16日(木)	榛南例会 (19:00 さざんか)
17日(金)	第16期経営指針を創る会 オリエンテーション (19:00 同友会会議室) 富士宮例会 (19:00 志ほ川バイパス店) 障がい者問題委員会 (中部関係機関との意見交換会) (18:30 静岡県男女共同参画センターあざれあ)
20日(月)	政策委員会 (18:00 同友会事務局)
23日(木)～ 24日(金)	中同協役員研修会in静岡 (5/23(木) 13:30～5/24(金) 12:00 ホテルセン チュリー静岡)
27日(月)	三島例会 (19:00 三島商工会議所)
29日(水)	第14回 食と農研究会 定時総会&懇親会 (18:00 パルシェ7階 貸会議室 C会議室) 県理事会 (17:00 同友会事務局) 例会企画委員会 (19:00 同友会事務局)

6月 1日(土)～ 2日(日)	第16期経営指針を創る会① (9:00 時之栖静岡ホテル)
4日(火)	広報情報化委員会 (19:00 同友会事務局)
11日(火)	静岡例会 (19:00 静岡ベガサート6F)
12日(水)	御殿場例会 (19:00 エピスクエア) 正副代表理事会 (17:00 同友会事務局)
13日(木)～ 14日(金)	第22回女性経営者全国 交流会inひろしま (13:00 リーガロイヤル ホテル広島・ホテルメル パルク広島)
14日(金)	組織増強委員会 (中・西部) (19:00 同友会会議室)



《あなたのスケジュールノートに必要事項をご記入ください》



静岡同友会
Facebookページ



静岡同友会Facebookページで、会員企業訪問の様子や
各支部例会の案内を掲載しています。ぜひご覧ください！

発行所：静岡県中小企業家同友会 doyu@szdoyu.gr.jp / 編集者：県広報情報化委員会

〒420-0857 静岡市葵区御幸町8 静岡三菱ビル6階 TEL:054-253-6130(代表) FAX:054-255-7620 <http://www.szdoyu.gr.jp>